

【記入例】

様式第 20 の 2 (第 48 条の 3 関係)

実 務 経 験 証 明 書

①	氏 名	● ● ● ● (● ● 年 ● 月 ● 日生)			
②	取り扱った危険物	類 別	第 4 類	品 名	第 1 石油類 (ガソリン)
③	取り扱った期間	● ● 年 ● 月 ● 日 から ● ● 年 ● 月 ● 日まで (● 年 ● 月)			
④	製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	製造所 ・ 貯蔵所 ・ 取扱所			
上記のとおり相違ないことを証明します。					
⑤	証明年月日	● ● 年 ● 月 ● 日			
⑥	事業所名	● ● 株式会社 ● ● 工場			
⑦	所在地	● ● 市 ● ● 町 ● 丁目 ● 番 ● 号			
⑧	証 明 者	職 名	代表取締役社長		
		氏 名	● ● ● ●		
		電話番号	(● ● - ● ●)		

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

実務経験証明書の記入要領

- ① 「氏名」欄は、証明を受ける者の氏名及び生年月日を記入する。
- ② 「取り扱った危険物」欄は、実務経験で取り扱った危険物の類及び品名を記入する。
危険物の類が複数ある場合は、主として取り扱った危険物の類を記入し、危険物の品名についても同様に取り扱うこととする。
- ③ 「取り扱った期間」欄は、実務経験の期間を記入する。なお、継続して取扱っている場合は、届出時点までの実務経験の日付を記入する。括弧内には、実務経験の合計年月を記入する。
※実務経験は免状取得前の取扱い歴も加算できる。
- ④ 「製造所等の別」欄は、実務を行った危険物施設の区分を○で囲む。複数の製造所等の区分にまたがる場合は、主として実務した施設の区分を○で囲む。
- ⑤ 証明年月日は、記載内容を証明する年月日を記入する。
- ⑥ 事業所名は、実務をした製造所等がある事業所の事業所名を記入する。
- ⑦ 所在地は、実務をした事業所の所在地を記入する。
- ⑧ 証明者は、実務をした事業所の長等、事業所を統括・管理する者とし、その者の職名及び氏名を記入する。電話番号は、事業所のものを記入する。